

平成 31 年度静岡市協働パイロット事業審査委員会 審査結果講評

今年度の協働パイロット事業では、6 件の協働事業が提案されました。各企画提案について、書類審査（一次審査）を実施し、これを通過した 6 件の企画提案を対象に面接審査を実施しました。

審査においては、次の 6 つの評価点に基づいて評価・採点を行いました。

- (1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか
- (2) 協働にふさわしい事業か
- (3) NPO の先駆性・創造性を活かした事業か
- (4) 実行性が十分に感じられるか
- (5) 予算の見積りは適正か
- (6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か

協働パイロット事業は試行的な協働事業ですが、これを契機に本格的な協働事業への発展や、継続的な事業実施へのステップアップを目指すものであるため、「(1) 市民ニーズや社会的課題を適切に把握しているか」、「(2) 協働にふさわしい事業か」及び「(6) 本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」については、特に重点を置いて評価をしました。

面接審査の結果、以下の 3 件の企画提案を平成 31 年度静岡市協働パイロット事業の候補として採択しました。

1 『どこでもできるアーバンスポーツ！マナーを知って安全に楽しもう！』

(一社) 静岡県インラインスケート協会

2 『学校における性の多様性の啓発ポスターづくりと研修会』

特定非営利活動法人しずおか LGBTQ+

3 『ミナトブンカサイ ～開港 120 周年に、ちょっと先の未来を創造する。～』

ミナトブンカサイ実行委員会

【審査委員講評】

◎『どこでもできるアーバンスポーツ！マナーを知って安全に楽しもう！』《採択》

(一社) 静岡県インラインスケート協会

本市では「市民一人1スポーツ」を目標として掲げ、運動・スポーツの実施率向上をはかっているところです。本提案は、公園や広場等の身近な場所で行うことができる「アーバンスポーツ」をテーマとしており、今後の成長が期待できる分野です。事業の発展性や他団体では実施困難である点について高く評価し、公園等の管理者である静岡市との協働事業としてふさわしいと考えました。

また、本事業には、アーバンスポーツにおいて課題である「マナー啓発」という側面もあり、さらに各コミュニティの形成も期待されます。スポーツ促進にとどまらず、地域活性、青少年育成等、幅広い効果が見込まれる事業です。事業実施にあたり地道な合意形成が必要かと思いますが、貴団体の活動に期待しています。

◎『学校における性の多様性の啓発ポスターづくりと研修会』《採択》

特定非営利活動法人しずおか LGBTQ+

本市では、一人ひとりの多様な生き方が尊重され、性別に関わりなく誰もが自ら能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指しており、教育現場における性的マイノリティへの支援である本事業は協働事業にふさわしいと評価しました。また、高度な専門性を必要とする本事業は、本市での単独実施は難しく、他団体にはない貴団体の専門性の高さという点も高く評価しました。

本事業では教育現場においてアンケートを実施し、より深くニーズの発掘が行われることとされています。事業担当課と密な連携を行い、得られた分析結果がフィードバックされ、より有効な「静岡モデル」が構築された事業実施に繋がっていくことを期待します。

◎『ミナトブンカサイ ～開港 120 周年に、ちょっと先の未来を創造する。～』《採択》

ミナトブンカサイ実行委員会

清水港は今年開港 120 周年を迎え、新たなステージに向けて大きな転換の時期を迎えています。また、貴団体は産学の連携がなされた組織であり、これまでも「ミナトブンカサイ」を全 4 回にわたり開催し、当市の地域振興に貢献いただいていた実績があることから、社会ニーズの把握や貴団体の実行性について高く評価しました。

同事業においては産学官での連携が期待されております。事業実施にあたっては、地域を巻き込んだ深い形での連携を密に計画いただき、一層効果的な実施を図っていただきたく考えております。

加えて、協働パイロット事業としての実施が終了した後の継続実施の方法、特に資金調達については引き続き御検討いただきますようお願いいたします。

【注記】

協働パイロット事業において採択された事業は、協働事業担当課との協議及び継続実施に関する審査を経て、最長2年間の継続実施ができる可能性があります。継続実施を検討する際は、継続することによる効果や、将来的な事業計画を明確にしてください。

●『両河内を元気に！高校生によるここ豆応援隊！事業』

中河内ここ豆会

両河内地区の在来品種である「ここ豆」を通じた中山間地振興と教育支援への取り組みをご提案いただきました。これらの問題は市全体で取り組むべき喫緊の課題であり、本市が抱える社会的課題を正確に捉えた事業であると考えます。また、「ここ豆」は貴団体が8年がかりで取り組まれてきたブランドであり、今日に至るまでビジネスモデルの構築に努められてきたことも高く評価しました。

一方で、「高校生を巻き込んだ活動をどう地域振興に繋げていくか」という点で、もう一歩踏み込んだ仕掛けが必要と思われる、今回は惜しくも不採択となりました。

高校生を一つの切り口に、大学生や事業者との連携も考えられる等、本事業は大きな可能性を秘めているものと考えます。貴団体におかれましては、今後も活動を継続していただき、より継続性・発展性のあるものにしていただきたく考えております。

●『大学生向けに「自治会まるわかりガイド」（紙版・電子版）を作成する』

NPO 法人 静岡団塊創業塾 自治会研究班（おまち+）

自治会・町内会の担い手不足という社会的課題について、一昨年度提案をいただいた経験をもとに、大学生との連携を盛り込んだ事業を提案いただきました。

貴団体と市内大学・自治会との繋がりを基にした本事業は、NPOとしての特性を十分に生かしたものであり、「協働にふさわしい事業」という点において優れています。

しかしながら、「既存の自治会向けパンフレットとどう違うのか」「大学生に見てもらうためにどのような仕掛けをするか」といった点について、より深く検討を重ねていただきたいと感じました。

自治会・町内会の担い手不足は市内各地で見られる深刻な課題です。今回は事業採択に至りませんでした。貴団体の持つネットワークを活かし、今後とも若者を巻き込んだ啓発活動を継続していただけることを期待します。

●『しずまえ魅力発見～つながる、広がる、笑顔あふれる、きれいな海と海の幸～』

用宗を楽しくする会（しずまえビーチクリーン実行委員会）

本事業は、課題テーマ『「しずまえエリア」の交流人口拡大に向けた企画・実行』に対

する提案事業として応募いただきました。廃プラスチックをはじめとした海岸ごみの問題が深刻化している中、「しずまえ」の促進とビーチクリーン活動を結び付けた本提案は、貴団体が社会的課題を適切に把握しているものとして評価しました。

一方で、静岡市パイロット事業としての活動が終了したのち、どのように本事業を継続していくかについてのビジョンが不明確であり、本格実施（継続実施）の面で疑問が残りました。

貴団体はこれまでに10回を超えるビーチクリーン活動を開催しており、確かな実績がございます。今回は事業採択には至りませんでした。今後とも活動を継続していただくとともに、地元団体や企業等との連携を図るなど、より発展した形での事業展開を期待します。